

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>外国人が医療機関を受診する際、不十分な言語コミュニケーションのため、意思疎通を図ることができないケースが増加しています。</p> <p>当市においては、医療機関からの依頼を受け（一社）北上市国際交流協会が通訳対応していますが、医療知識が不足しているとともに、通訳に係る費用負担の仕組みが確立されていない状況です。</p> <p>岩手県に在住、来訪する外国人は年々増加しているとともに、観光ルートの広範囲化、生活圏の広域化により、医療受診環境整備は県全体で取り組むべき重要な政策と考えます。</p> <p>[要 望]</p> <p>広域中枢病院である県立病院において、外国人が受診しやすい環境整備を要望します。</p>	<p>本県の在留外国人数は、東日本大震災津波の影響で一時的に減少したものの、その後は年々増加傾向にあることから、外国人が安心して生活できる環境を整えていくことが必要と考えています。</p> <p>県では、これまでも、アイーナにある国際交流センターに外国人相談窓口を設置し、医療、福祉等の様々な相談に対応してきましたが、平成30年度新たに、医療文化の違い等から生じる誤解やすれ違いなどのトラブルの軽減を図るため、病院等を受診する外国人と受け入れる医療機関関係者、双方が基本的知っておくべき情報を多言語で掲載するガイドブックを作成したところです。</p> <p>県立病院では、外国人が受診しやすい環境の整備を図るため、各病院における外国人の受診動向等に応じて、外国語対応マニュアル、外国語の外来問診票及び会計説明書の作成並びに通訳翻訳アプリの導入等に取り組んでいます。</p> <p>なお、県立中部病院、県立胆沢病院、県立磐井病院、県立江刺病院及び県立遠野病院においては、奥州市国際交流協会と医療通訳派遣システムの覚書を締結し、診察や会計手続きなどにおける医療通訳ボランティアの派遣を受けています。</p> <p>県立病院では、引き続き、関係機関と連携のもと、外国人が受診しやすい環境の整備に取り組んでいきます。（B）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部、経営企画部</p>	<p>B：1</p>
<p>北上川右岸にある大曲排水機場は、平成19年9月の洪水時にポンプをフル稼働したにもかかわらず、市道とJR東北本線との立体交差部で冠水の恐れが生じたことから、幹線道路の通行止めの措置をとらざるを得なくなり、大きな混乱を来しましたが、近年の気象状況に鑑みれば、今後、平成19年以上の洪水が危惧されることから当該地区の内水対策は焦眉の問題となっています。</p> <p>[要 望]</p> <p>都市機能の保全と災害緊急時の安全な交通路を確保するため、ポンプ機能の増強について県からも国へ働きかけるよう要望します。</p>	<p>大曲排水機場は、国において平成14年度までに完成しております。</p> <p>しかし、排水機場の設置後、背後地の市街地化が進んでいることや、昨今、局地的に短時間で降る大雨が多発していることなどから、今後、水防情報の速やかな共有に努めるなど、減災への取り組みを強化するとともに、ポンプ機能の増強について国土交通省への要望を行っていきます。（B）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B：1</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>北上川右岸の相去町下谷木地区は、平成19年9月の洪水で北上川の流水が大関沢川との合流地点から逆流したことにより、同地区の1団地が孤立し、3世帯が自治公民館に避難する事態が発生しており、この地区では、浸水被害防止対策が緊急の課題となっています。</p> <p>[要 望] 浸水被害対策として、北上川と大関沢川の合流点付近までの堤防の延伸整備と排水機場等の整備について県からも国へ働きかけるよう要望します。</p>	<p>無堤防区間が多い北上川中流部（概ね紫波町～奥州市の区間）においては、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水に伴い、5年間に2度も甚大な浸水被害を受けています。</p> <p>国では、北上川中流部緊急治水対策事業として、まずは住家への浸水被害の軽減を図ることを優先して進めることとしており、下谷木地区については他地区の進捗を勘案しながら対応すると聞いています。</p> <p>北上川の治水対策は、県としても重要な課題であり、国に対し整備促進の要望を行っていきます。（B）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B：1</p>
<p>北上川右岸の小鳥崎地区は、平成19年9月の洪水で北上川の流水が地区内に流入し、住家2戸、非住家3戸が床下浸水する事態が発生しています。</p> <p>また、現在計画中有る黒岩地区の堤防整備がなされた際には、洪水時、堤防整備が完了した二子及び黒岩両地区の下流側で堤防が未整備である小鳥崎地区及び里分地区への浸水が大変懸念されており、この地区の浸水被害防止対策が緊急の課題となっています。</p> <p>[要 望] 浸水被害対策として、小鳥崎地区から珊瑚橋北側までの堤防の整備延伸及び黒岩地区の堤防整備事業推進について、県からも国へ働きかけるよう要望します。</p>	<p>無堤防区間が多い北上川中流部（概ね紫波町～奥州市の区間）においては、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水に伴い、5年間に2度も甚大な浸水被害を受けています。</p> <p>国では、北上川中流部緊急治水対策事業として、まずは住家への浸水被害の軽減を図ることを優先して進めることとしており、小鳥崎地区及び黒岩地区については、他地区の進捗を勘案しながら対応すると聞いています。</p> <p>北上川の治水対策は、県としても重要な課題であり、国に対し整備促進の要望を行っていきます。（B）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B：1</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>北上工業団地入口から花巻市境までの区間については、北へ向かう幹線物流ルートであることや、広域医療の基幹病院として救急医療の中核となっている県立中部病院への花巻市方面からの救急車両のメインルートとなっていますが、いまだに2車線区間であることから渋滞が著しい区間となっています。</p> <p>また、東芝メモリ新工場立地により、1棟あたり最大1,000人の従業員、300～400社とも言われる関連企業の出入りが行われることになり、さらに激しい渋滞が発生すると見込まれます。</p> <p>[要 望]</p> <p>4車線化の事業促進のため、北上市・花巻市・金ケ崎・奥州市の3市1町と民間企業・団体による国道4号岩手県南地域整備促進期成同盟会を設立し、国への要望活動を行っておりますので、早期事業化に向け、県からも国へ働きかけるよう要望します。</p>	<p>県では、内陸部における物流の円滑化や地域間の交流・連携を促進し、快適・安全な生活の確保を図る道路として、一般国道4号の整備の重要性を認識しており、6月8日に行った2019年度政 府予算提言・要望において、一般国道4号の整備促進について国に要望しています。</p> <p>引き続き一般国道4号における2車線区間の4車線化の早期事業化について国へ強く訴えていきます。(B)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B : 1</p>
<p>4車線化された区間のうち、鬼柳地区の一般県道北上和賀線との交差点は、近隣の小学校の通学路となっており、交通量の多い国道の横断歩道を72人の小学生が利用している状況となっています。</p> <p>[要 望]</p> <p>交通量が多い状況で、重大事故の発生が懸念されることから、交差点または交差点付近の安全が確保できる場所への立体横断施設等の早急な設置に向けて特段の配慮を要望します。</p>	<p>御要望の鬼柳地区への立体横断施設等の設置については、現地状況等から現状では整備が難しいと国から聞いています。</p> <p>なお、県では交差点西側の一般県道北上和賀線の300m区間について、平成25年度から歩道整備を行っており、引き続き事業を進めます。(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C : 1</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>一般国道107号は、太平洋と日本海を結ぶ、物流、観光を支える重要な役割を担う道路であり、平成9年4月には一般国道4号から和賀町長沼までのバイパス区間が供用開始され、藤根地区の家屋連担区間の交通事故や騒音、危険箇所の解消が図られていますが、和賀町堅川目、横川目地区の家屋連担区間においては歩行者等が危険な状態です。</p> <p>また、県道口内伊手線と接続する口内町金成地区の交差点は、カーブが連続する区間に位置しており、見通しが悪い危険箇所となっています。復興支援道路として位置付けられている同路線は、(仮称)梁川トンネル開通により交通量の増加が予想され、交通事故の発生が危惧されます。</p> <p>(1) バイパス事業の延伸【継続】 バイパス事業の延伸により、交通安全対策を講じるよう要望します。</p>	<p>一般国道107号の御要望区間におけるバイパス事業の延伸については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の整備は難しい状況です。(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C : 1</p>
<p>一般国道107号は、太平洋と日本海を結ぶ、物流、観光を支える重要な役割を担う道路であり、平成9年4月には一般国道4号から和賀町長沼までのバイパス区間が供用開始され、藤根地区の家屋連担区間の交通事故や騒音、危険箇所の解消が図られていますが、和賀町堅川目、横川目地区の家屋連担区間においては歩行者等が危険な状態です。</p> <p>また、県道口内伊手線と接続する口内町金成地区の交差点は、カーブが連続する区間に位置しており、見通しが悪い危険箇所となっています。復興支援道路として位置付けられている同路線は、(仮称)梁川トンネル開通により交通量の増加が予想され、交通事故の発生が危惧されます。</p> <p>(2) 右折レーンの設置 107号口内金成地区、県道口内伊手線交差点部分に右折レーンの設置を要望します。</p>	<p>御要望の箇所については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C : 1</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>秋田自動車道は、東北自動車道と直結し、日本海と太平洋側を結ぶ産業・経済にとって重要な社会基盤となっております。</p> <p>また、東日本大震災では、秋田側を介した緊急支援ルートとして大きな役割を果たしたところです。</p> <p>さらに、平成27年に西和賀町内で発生した土砂崩落により、一般国道107号が通行止めになった際には、その唯一の代替路線として利用されてきました。</p> <p>しかし、北上JCT～大曲IC間は片側1車線区間であり、冬季の積雪や事故による通行止めの発生など、産業振興や観光面で大きな課題が顕在化しております。</p> <p>[要 望]</p> <p>秋田自動車道、北上JCT～大曲IC間の4車線化について、秋田自動車道四車線化促進期成同盟会に加盟し要望を行っておりますので、県からも国やNEXCO東日本へ働きかけるよう要望します。</p>	<p>平成27年に国道107号西和賀町杉名畑地区において土砂崩れが発生し、全面通行止めになった際は、秋田自動車道が迂回路として有効に機能し、同路線の重要性を改めて認識されたところです。</p> <p>岩手県としましても、秋田自動車道の暫定2車線供用区間を4車線化することは、安全・安心な通行を確保するうえで大変効果的と考えており、平成29年度開催した、「いわての地域づくり・道づくりを考える大会」において、高規格幹線道路等の暫定2車線区間の4車線化等の安全対策について訴えたところです。</p> <p>4車線化を実現するために、まずは、予算の確保が重要であることから、本県としましても、公共事業予算総枠の安定的・持続的な確保を国に強く働きかけていきます。(B)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B：1</p>
<p>一般国道456号は、盛岡市を起点に北上川の東側を宮城県登米市まで縦断しており、沿線市町村の産業、観光等の重要な機能を担い、一般国道4号を補完する幹線道路ですが、幅員が狭く歩道も一部を除き設置されていない状況となっております。</p> <p>[要 望]</p> <p>口内町新町、荒町地区の拡幅改良及び歩道設置、もしくは、同町の久田から松坂を経由して青木田まで通じるバイパスの建設を要望します。</p>	<p>御要望の口内町新町(しんまち)、荒町(あらまち)地区の拡幅改良及び歩道設置については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。(C)</p> <p>また、久田(きゅうでん)から青木田(あおきだ)地区のバイパス化については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C：2</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>主要地方道花巻北上線は、北上川の川東地区を南北に縦断する広域的な幹線道路ですが、更木地区内の八天、野沢地区は坂道でカーブがきつい状況であります。</p> <p>また、黒岩地区から立花地区の区間には歩道のない箇所があり、北上川が増水した際には当該道路と隣接する自転車道が水没して利用できないこともあるなど、自転車、歩行者の通行に危険な状況です。</p> <p>[要 望] 車道の拡幅及び歩道の設置を要望します。</p>	<p>主要地方道花巻北上線の八天（はってん）、野沢地区の改良整備については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の整備は難しい状況です。（C）</p> <p>また、黒岩地区から立花地区の車道の拡幅及び歩道設置についても、要望箇所の地形が厳しい状況から、早期の整備は難しい状況です。（C）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C：2</p>
<p>主要地方道花巻平泉線は、当市と花巻市、金ヶ崎町等を結ぶ、温泉観光等の重要な幹線道路であります。一部に拡幅工事を未着手区間があるとともに、夏油川に架かる橋が狭く危険な状況です。</p> <p>[要 望] 和賀町山口地内の狭窄箇所の早期拡幅改良と、和賀町岩崎地内で冬期間の通行に危険が大きい新田橋の架け替えを含めた道路改良を要望します。</p>	<p>主要地方道花巻平泉線の山口地区の拡幅改良については、かつて道路整備を進めていたところですが、用地交渉の難航区間があり整備を中断した経緯があります。引き続き、現在も、関係者との計画協議を継続しています。（C）</p> <p>新田橋（しんでんばし）の架け替えについては、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。（C）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C：2</p>
<p>主要地方道北上東和線は、花巻市東和地区の中心部と北上市を結ぶ道路であり、開通した平成大橋を経由して工業団地、国道4号、県立中部病院等に至る道路ですが、当該路線のうち、花巻市境の臥牛地内から更木地内までの区間は、幅員が狭く、高低差の著しい状況が連続する区間であり、特に冬期間の車両通行に危険な状況です。</p> <p>また、本路線と交換予定としている川原町南田線において、当市では県立黒沢尻工業高校までの歩道整備を進めておりますが、主要地方道北上東和線については、地域から二子小学校前への早期の歩道整備と昭和橋の補修について要望があります。</p> <p>[要 望] 道路利用者の安全確保のため、拡幅整備及び二子小学校前の歩道整備並びに昭和橋の長寿命化対策を要望します。</p>	<p>主要地方道北上東和線の臥牛（ふしうし）から更木（さらき）までの拡幅整備については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の整備は難しい状況です。（C）</p> <p>歩道整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況です。</p> <p>御要望の二子小学校前の区間については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。（C）</p> <p>昭和橋については、現在、貴市との移管協議に基づき補修工事を実施しています。（B）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B：1 C：2</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>一般県道は、国道等の基幹道路と市内各地域を広域的に結び、主要施設へのアクセス、国道の補完といった重要な役割を担い、通勤通学等日常の市民生活に欠かせない重要路線ですが、近年、交通量が増加し、施設の改良整備が緊急の課題となっています。つきましては、交通安全の確保と道路機能の向上を図るため、次の事項について要望します</p> <p>(1) 夏油温泉江釣子線 夏油温泉江釣子線は、一般国道107号と市の主要な観光地である夏油高原地域を結ぶ重要な路線ですが、江釣子十文字交差点から南側の住宅連担区間及び和賀川右岸の広表橋から堤防までは幅員が狭く、歩道もない状況となっています。</p> <p>[要 望] この区間の歩行者及び自転車の安全確保のため、交差点改良と交通安全施設の整備を要望します。</p>	<p>歩道整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況です。 『江釣子十文字交差点の交差点改良』及び『同交差点から南側の住宅連担区間の歩道等の交通安全施設の整備』については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。(C) また、『和賀川右岸の広表橋から堤防までの区間の歩道等の交通安全施設の整備』についても、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C : 2</p>
<p>一般県道は、国道等の基幹道路と市内各地域を広域的に結び、主要施設へのアクセス、国道の補完といった重要な役割を担い、通勤通学等日常の市民生活に欠かせない重要路線ですが、近年、交通量が増加し、施設の改良整備が緊急の課題となっています。つきましては、交通安全の確保と道路機能の向上を図るため、次の事項について要望します</p> <p>(2) 相去飯豊線 相去飯豊線は、当市の中心市街地を縦断しており、通勤通学や買物等市民の日常生活には欠かすことのできない重要路線であります。中心商店街通りと相去町丙後地内において、一部区間には歩道が設置されておらず、歩行者の安全確保に不安をきたしています。</p> <p>ア 県道北上停車場線から市道大天満大曲線交差点までの歩道整備 誰もが歩いて暮らせるまちづくりのため、中心市街地の歩行空間の安全確保が求められており、県道北上停車場線から市道大天満大曲線交差点までの両側区間に歩道の整備を要望します。</p>	<p>歩道整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況です。 御要望の箇所については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C : 1</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>一般県道は、国道等の基幹道路と市内各地域を広域的に結び、主要施設へのアクセス、国道の補完といった重要な役割を担い、通勤通学等日常の市民生活に欠かせない重要路線ですが、近年、交通量が増加し、施設の改良整備が緊急の課題となっています。つきましては、交通安全の確保と道路機能の向上を図るため、次の事項について要望します</p> <p>(2) 相去飯豊線 相去飯豊線は、当市の中心市街地を縦断しており、通勤通学や買物等市民の日常生活には欠かすことのできない重要路線であります。中心商店街通りと相去町丙午地内において、一部区間には歩道が設置されておらず、歩行者の安全確保に不安をきたしています。</p> <p>イ 相去町丙午地内の歩道整備 相去町丙午地内片側の歩道未設置区間への歩道整備を要望します。</p>	<p>歩道整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況です。 御要望の箇所については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討してまいります。早期の事業化は難しい状況です。(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C : 1</p>
<p>一般県道は、国道等の基幹道路と市内各地域を広域的に結び、主要施設へのアクセス、国道の補完といった重要な役割を担い、通勤通学等日常の市民生活に欠かせない重要路線ですが、近年、交通量が増加し、施設の改良整備が緊急の課題となっています。つきましては、交通安全の確保と道路機能の向上を図るため、次の事項について要望します</p> <p>(3) 後藤野野中線【継続】 後藤野野中線のうち、一般国道107号から県道花巻和賀線交差点までの区間は、幅員が狭く歩道もない状況となっております。近年、後藤野工業団地への通勤車両や大型車両の通行が増加していることに加え、工業団地への企業立地や岩手中部広域行政組合によるごみ焼却施設の平成27年10月からの稼働により、大型車両等の通行が増加しています。</p> <p>[要 望] 事業着手されている国道107号交差点から起点側300mに引き続いて、県道花巻和賀線との交差点までの歩道設置と道路の拡幅整備を要望します。</p>	<p>歩道設置等については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況です。 御要望の区間への歩道設置及び拡幅整備については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討してまいります。早期の事業化は難しい状況です。 なお、一般国道107号交差点から起点側の約300m区間については、平成29年度に整備を完了しました。(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C : 1</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>当市の重要幹線市道及び隣接市町との広域幹線道路として重要な機能を有する次の道路について、県道に昇格されるよう要望します。</p> <p>(1) 市道飯豊赤坂線 (L=12,310m) 市道飯豊赤坂線は、一般国道4号及び県道相去飯豊線のバイパス的な役割を担い、これら路線の交通緩和を図るうえで極めて重要な路線となっています。 全線開通した後は、東北縦貫自動車道北上江釣子インターチェンジ及び北上金ヶ崎インターチェンジを最短で直結し、また、北上流通基地をはじめ市内の工業団地等への物資の搬入に大きな役割を果たすとともに、現在、当市が事業を実施中の飯豊北線を含めて花巻市まで至ることになり、沿線にある県立中部病院や北上総合運動公園へのアクセス道路にもなる道路となっています。 [要 望] 国道4号を補完し、花巻市と金ヶ崎町を結ぶ広域的な道路として、県道として認定を要望します。</p>	<p>県道昇格については、市町村間を結ぶ道路など道路法に規定する認定条件を具備する必要がある、これらの要件を満たした路線について、地域の道路網における市町村道との機能分担や、整備・管理する必要性等を総合的に判断の上行うこととしており、現在のところ、御要望の区間の県道昇格は難しい状況です。 (C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C : 1</p>
<p>当市の重要幹線市道及び隣接市町との広域幹線道路として重要な機能を有する次の道路について、県道に昇格されるよう要望します。</p> <p>(2) (仮称)上浮田村崎野線 (L=9,106m) (仮称)上浮田村崎野線は、当市と花巻市東和町を結ぶ幹線道路であり、一般国道4号から一般国道456号に至る通勤通学、産業・観光道路としての重要な役割を担っています。 [要 望] 平成21年に開院した県立中部病院へのアクセス道路として極めて重要な路線であることから、早急に県道認定を行うよう要望します。</p>	<p>県道昇格については、市町村間を結ぶ道路など道路法に規定する認定条件を具備する必要がある、これらの要件を満たした路線について、地域の道路網における市町村道との機能分担や、整備・管理する必要性等を総合的に判断の上行うこととしており、現在のところ、御要望の区間の県道昇格は難しい状況です。 (C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C : 1</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>主要地方道一関北上線は北上川左岸に、一般県道相去飯豊線は右岸に位置し、それぞれ当市の主要な道路であります。</p> <p>主要地方道一関北上線及び一般県道相去飯豊線を利用して、物流貨物車はもとより、奥州市江刺から北上南部工業団地などへ、または当市から江刺中核工業団地へ通勤する自家用車が多数通行しています。</p> <p>一方、市内の南側で、主要地方道一関北上線と一般県道相去飯豊線を結ぶ橋は、当市が管理する国見橋のみです。</p> <p>[要 望]</p> <p>主要地方道一関北上線及び一般県道相去飯豊線を結ぶ(仮称)新国見橋の整備を要望します。</p>	<p>新たな橋の整備については、県として早期の事業化は困難ですが、国見橋の管理者でもある貴市と、北上川を渡る道路ネットワークのあり方について検討していきます。(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C : 1</p>
<p>全国の情報処理技能者養成施設及び地域職業訓練センターの廃止に伴い譲渡された北上コンピュータ・アカデミーは、激変緩和措置として、平成23年度以降3カ年、施設の修繕料と機器リース料が全額国費による対応がなされ、その後、県、市及び職業訓練法人北上情報処理学園が連携して、国に対し支援継続の要望を行い、平成30年度までは、一定の条件のもとリース料に対し国による全額補助が継続されております。</p> <p>同校の直近3年間(平成28~30年度)の入学生の地区別状況を見ると、9割以上が県内高校出身者であり、その内訳は北上地区が19%、花巻・盛岡・県北地区が39%、胆江・一関地区が25%、その他沿岸、気仙地区からと、県内各地から生徒を受け入れています。また、直近3年間(平成27~29年度)の就職状況は県内が79%、県外が21%であり、卒業生の多くが県内で活躍しています。</p> <p>同校では、今年度機器を更新し教育環境を整えたところです。課題となっている学生の確保については、今後の運営について県の参加を得ながら調査研究を行うこととしておりますが、引き続き県内における高度情報技術者の育成拠点としての役割を果たしていく必要があります。</p> <p>[要 望]</p> <p>同校が北上市内のみならず、広く県内の人材育成に寄与していることから、県立の高等教育機関が皆無である当地域の実情を考慮し、今後の運営について県の関与を深めるよう要望します。</p>	<p>北上コンピュータ・アカデミーは、開校以来多くの人材を輩出し、地域の情報化と経済の発展に寄与しており、継続して運営できるような財源の確保を図ることが重要と考えています。</p> <p>そのため、県では、これまでも北上市と連携して国への要望活動を行っており、国の職業能力開発校設備整備費等補助金により、コンピューターリース料についての支援措置が継続されてきたところです。</p> <p>今年度7月に、北上市と連携し、厚生労働省に対し、「平成31年度以降の職業能力開発校設備整備費等補助金による支援(国による全額支援)の継続」について要望し、平成31年度政府予算に盛り込まれたところです。</p> <p>今後も、北上コンピュータ・アカデミーの運営についての調査研究に協力していくとともに、北上市との緊密な連携のもと、北上コンピュータ・アカデミーでの訓練がしっかり行えるよう、引き続き、「国の全額負担による財政支援の継続」について取り組んでいきます。(B)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B : 1</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>当市では、産業間連携や起業等による新事業を創出し、地域の持続的な発展と魅力ある地域産業の振興を図るため、北上市基盤技術支援センターの機能を拡充させた北上市産業支援センターを平成29年度に開設しました。</p> <p>(1) 岩手県よろず支援県南サテライトの設置 製造業が集積されている県南地域において、北上市産業支援センターをより効果的に運営するため、岩手県よろず支援拠点等の支援機関との強固な連携体制を構築する必要があると考えます。 [要 望] 現在実施されている出前による相談体制を生かしながら、県南地域をターゲットとした支援拠点サテライトを北上市産業支援センター内に設置することによる相談支援体制の強化を要望します。</p>	<p>岩手県よろず支援拠点は、平成26年6月に「いわて産業振興センター」内に設置され、商工団体や金融機関と連携しながら、開設以来20,000件以上の相談に対応しています。</p> <p>また、盛岡地区以外の事業者も気軽に相談できるよう、県内各地で合同相談会を開催しています。特に北上地区においては、北上市産業支援センターや北上信用金庫と連携し、平成29年度からはほぼ毎週のように開催しており、事実上のサテライト展開となっているところです。</p> <p>北上市産業支援センターでは、事業者からよろず支援拠点の利用についての照会があった場合には、合同相談会を御案内いただくなど、同拠点と連携した対応を行っています。</p> <p>県としては、よろず支援拠点の相談業務を通じて、事業者の売上拡大や経営改善を支援していきたいと考えており、そのため、同拠点と商工団体、金融機関や、関係支援機関が連携を深めていけるよう、今後の連携体制などについて、いわて産業振興センターとともに引き続き検討していきます。</p> <p>なお、県では、本年6月に実施された「2019年度政府予算等に係る提言・要望」において、よろず支援拠点にて相談支援などに対応する専門スタッフの拡充等について要望したところです。 (B)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B：1</p>
<p>当市では、産業間連携や起業等による新事業を創出し、地域の持続的な発展と魅力ある地域産業の振興を図るため、北上市基盤技術支援センターの機能を拡充させた北上市産業支援センターを平成29年度に開設しました。</p> <p>(2) 北上市産業支援センター内の自動車分解展示の更新 現在実施されているプリウスの分解展示は、県南地域の企業はもとより他県からも多数来場があるほか、学生に対する講座が開設されるなど、ものづくりへの意識喚起に繋がってきました。しかし、経年により、一世代前の部品展示のため来訪者は減少しています。 [要 望] 地場産業の自動車産業への進出及び講座を受講した学生が高い技能や技術を習得し、地場産業を支える人材となることで企業誘致の増加を図るため、より新しい車両であり、隣接する金ケ崎町で製造されている最新車種の分解展示の実施を要望します。</p>	<p>自動車部品の分解展示場は、平成20年8月に開設して以来、小学生の見学から大学等の講座、ものづくり企業の従業員教育等人材育成に活用されてきたほか、自動車産業への参入や取引拡大を目指す企業に対し、自動車部品・構造に関する具体的な情報を提供するなど、本県ものづくり産業の発展に貢献してきました。</p> <p>現在、本県は、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場による小型車の生産拡大に伴い、部品メーカー等の集積が加速しており、今後も新型車種の生産等さらなる発展が見込まれる状況にあります。</p> <p>このような中、自動車部品の分解展示場の役割は今後も重要と考えており、トヨタの東北拠点化の動向や隣県の類似施設との機能分担等を踏まえながら、引き続き充実に努めていきます。 (B)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B：1</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>当市では、産業間連携や起業等による新事業を創出し、地域の持続的な発展と魅力ある地域産業の振興を図るため、北上市基盤技術支援センターの機能を拡充させた北上市産業支援センターを平成29年度に開設しました。</p> <p>(3) いわてデジタルエンジニア育成センターの継続 いわてデジタルエンジニア育成センターは、3次元設計開発の人材育成や企業支援の拠点として大きな役割を果たしており、自動車産業をはじめ地場産業の振興につながっています。 また、当市では、3次元造形技術の人材育成や技術支援を強化するため、北上市産業支援センター内にフルカラー3Dプリンタを今年度導入することから、いわてデジタルエンジニア育成センターとの連携による相乗効果が期待されているところです。</p> <p>[要 望] いわてデジタルエンジニア育成センターは、県の委託事業と当市補助金により運営されていますが、3次元設計開発に係る人材育成や企業支援が安定的に行われるよう体制を強化するとともに、産業集積地である当市において引き続き運営されるよう要望します。</p>	<p>いわてデジタルエンジニア育成センターは、平成21年7月に「北上オフィスプラザ」内に設置され、3次元設計技術に関する「人材育成」と「企業支援」の2つの柱のもと、これまで事業を実施してきたところです。</p> <p>人材育成事業については、求職者、在職者、学生、教員向けの講習を実施し、これまで2,143人が受講しています。また、これら受講者のうち、221人が求職者で、そのうち99人が自動車関連企業等に就職するなど、当センターの人材育成に係る取組は県内全域に広まり、企業や専門高校にとどまらず県内高校からも3次元設計開発における人材育成機関として高い評価を受けています。</p> <p>また、当センターが有する専門的な3次元ソフト及び当該ソフトに精通している講師が、多様な企業支援を行うことで、企業の産業競争力の強化にも貢献しています。</p> <p>県としては、県内企業の技術力強化や競争力強化を図るためには、製品の付加価値向上や生産性向上を実現できる3次元設計開発技術への支援が必要であること、また、インダストリー4.0（第4次産業革命）を実現するツールとしても、当センターの機能を維持・強化していくことが必要と考えており、引き続き北上市や関係機関と連携しながら、今後のセンター運営のあり方について検討していきたいと考えています。（B）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B：1</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>平成29年4月、花巻清風支援学校北上みなみ分教室小学部及び中学部を岩手県の特段の配慮により開設いただき、小学部に2名、中学部に3名が入学しました。さらに今年度は小学部に2名入学し、全体で4名に、中学部には1名入学し中学部全体で4名となりました。隣接する北上市立南小学校、南中学校との交流も図られ、良好な学習環境や通学の負担の軽減などから、さらに、同校への入学者数の増加が見込まれます。</p> <p>一方、昨年度、市内中学校を卒業した特別支援学級在籍者17名のうち、花巻清風支援学校高等部に4名、盛岡峰南支援学校に4名、江南義塾高等学校に2名、西和賀高等学校に1名、水沢農業高等学校1名、杜陵高校奥州校・通信制に1名、同・定時制に1名、盛岡スコーレ高等学校に1名、盛岡中央高等学校に1名、北日本高等専修学校に1名が就学しており、義務教育終了後は生徒の障がいの特性に応じた就学先を求めて市外に就学せざるを得ない状況です。また、花巻清風支援学校高等部在籍者の4割が当市から就学しています。</p> <p>現在、北上みなみ分教室中学部には2年生3名が在籍しており、同校を卒業する生徒が市内で一貫した教育を受けられる環境の整備が望まれるとともに、市内の特別支援学級生徒の進学先として、市内に支援学校高等部の設置が必要であると考えます。</p> <p>[要 望] 花巻清風支援学校北上みなみ分教室小中学部の設置を踏まえ、その近隣に分教室高等部の設置を要望します。</p>	<p>特別支援学校の高等部においては、将来の自立や就労を見据えた教育を重視しており、一定の集団での様々な学習を通して、一人一人に応じた社会性や働く力を育むことが必要とされています。花巻清風支援学校高等部では、平成27年度に新たな作業棟を増築し、花北地区の生徒を対象とした高等部の教育環境の充実を図ったところです。</p> <p>今後の高等部のあり方を含む特別支援学校の教育環境の整備については、現在取り組んでいる整備を進めながら、生徒数の動向や全体的な学校配置のあり方等を総合的に勘案し、ご提言の趣旨等も踏まえながら検討していきます。</p> <p>(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>中部教育事務所</p>	<p>C : 1</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>北上済生会病院は、施設の老朽化が進み、これに加え一部耐震性に難があることから、旧県立北上病院跡地に新病院を建設することとし、平成32年度に開院を目指して準備を進めているところです。当病院は、長年にわたり当市の中核病院として、県立中部病院とともに急性期医療を担うほか、当市にとっては回復期医療を担う唯一の病院であり、市民にとって欠くことのできないものとなっています。</p> <p>また、「地域周産期母子医療センター」がない医療圏の胆江地区の金ヶ崎町や奥州市からも周産期医療の外来や入院患者が来院しており、2つの医療圏にまたがる広域性のある重要な医療機関となっています。</p> <p>当市としては、地域医療を支えるため、この新病院建設を、全面的に支援することとしており、その存在意義や広域性を考えた場合に、県と一体となった支援が必要と考えます。</p> <p>(1) 予算確保 県の医療施設近代化施設整備事業費補助金が交付要綱の基準額どおりに交付できるよう、その財源である厚生労働省の医療提供体制施設整備交付金の十分な予算確保について、国へ働きかけるよう要望します。</p>	<p>病院建物の老朽化等による建替等については、県が単独で公的病院医療提供体制強化施設整備費補助事業等により支援に努めているほか、国の医療施設近代化施設整備事業により補助を行っているところですが、近年、国から基準額どおりに交付されない状況であることから、県では政府予算提言・要望において、十分な予算を確保するよう要望を行っているところであり、今後も機会を捉えて国への働きかけを行っていきます。(B)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部</p>	<p>B：1</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>北上済生会病院は、施設の老朽化が進み、これに加え一部耐震性に難があることから、旧県立北上病院跡地に新病院を建設することとし、平成32年度に開院を目指して準備を進めているところです。当病院は、長年にわたり当市の中核病院として、県立中部病院とともに急性期医療を担うほか、当市にとっては回復期医療を担う唯一の病院であり、市民にとって欠くことのできないものとなっています。</p> <p>また、「地域周産期母子医療センター」がない医療圏の胆江地区の金ヶ崎町や奥州市からも周産期医療の外来や入院患者が来院しており、2つの医療圏にまたがる広域性のある重要な医療機関となっています。</p> <p>当市としては、地域医療を支えるため、この新病院建設を、全面的に支援することとしており、その存在意義や広域性を考えた場合に、県と一体となった支援が必要と考えます。</p> <p>(2) 信号機の新設</p> <p>新病院開院後、周辺道路における渋滞発生が予想されることから、北上市九年橋三丁目地内、市道上川原常盤台線と市道川原町南田線の丁字路交差点への信号機の新設に向けて特段の配慮を要望します。</p>	<p>開院後は、周辺道路において通院等による車両、歩行者の増加が予想されますが、今後、交通流量の変化、交通渋滞及び交通事故の発生状況などについて継続して注視することにし、適切な時点で住民の方の意見も参考としながら信号機設置の判断を行うことにします。(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>C : 1</p>